

# ウィメンズヘルス

講師 甲斐村 美智子  
Michiko Kaimura

## 現在の研究テーマと内容

近年、女性の生涯や役割の多様化、医学の進歩・発展、晩婚・晩産化、少子高齢化、生活環境の変化など、女性を取り巻く環境は大きく変化しています。このような背景にある女性の生涯の健康に着目し、QOLの向上を目指した研究を行ってきました。

## これまでの研究成果と今後の展開

詳細な業績については、本学研究者紹介 (<https://www.acoffice.jp/khsuhp/Kgapp>) に掲載されている情報をご参照ください。

現在は、主に幼児の睡眠習慣に関する研究に取り組んでいます。これまでの調査からは、子どもの睡眠には複数の要因が関与しており、特に母親の生活習慣が大きな影響を及ぼすことが明らかとなってきました。今後は、子どもの健やかな睡眠習慣を育むために、母親自身が健康的な生活リズムを確立できるような支援の在り方を検討し、家庭内の生活環境や育児支援体制の整備に寄与する実践的なモデルの構築を目指していきたいと考えています。

## 大学院を目指すみなさんへメッセージ

各ライフステージにある女性の健康問題や母子とその家族を取り巻く課題を明らかにし、支援について考えてみませんか。